

2026 年 シニア世界選手権日本代表選手について

「2026 年シニア世界選手権日本代表選手選考方針（2025 年 11 月 26 日付）（2026 年 1 月 27 日ならびに 2 月 25 日に更新）」に基づき、「シニア・U23 SBS」を実施し、「2026 年シニアナショナルチーム」を決定しています。

・3 月 13 日（金）～15 日（日）実施の「シニア・U23 SBS」海の森水上競技場）

→ 3/19 付（2025-365）「2026 年シニアナショナルチームについて」

[https://www.jara.or.jp/kyoka/current/1.\(2025-365\)2026.Sr.NationalTeam\(0319\).pdf](https://www.jara.or.jp/kyoka/current/1.(2025-365)2026.Sr.NationalTeam(0319).pdf)

更に、シニアナショナルチームの「重点種目 M1x / 派遣種目 W2-」ならびに「派遣種目 M2x、M4-、W4-、LW2x」が【ワールドカップ 3（スイス・ルツェルン）】に臨みました。

→（4/20 付（2026-026）「シニア 重点種目 M1x / 派遣種目 W2- 欧州遠征 2026 World Rowing Cup I（Seville）

および 2026 World Rowing Cup III（Lucerne）日本選手団の大会遠征について」

[https://www.jara.or.jp/kyoka/current/\(2026-026\)Sr.M1x.W2-.WC1Seville.3Lucerne\(0420\)-2.pdf](https://www.jara.or.jp/kyoka/current/(2026-026)Sr.M1x.W2-.WC1Seville.3Lucerne(0420)-2.pdf)

→（5/25 付（2026-61）「シニア派遣種目 M2x、M4-、W4-、LW2x 欧州遠征 2026 World Rowing Cup III（Lucerne）日本選手団の大会遠征について」

[https://www.jara.or.jp/kyoka/current/\(2026-061\)Sr.M2x.M4-.W4-.LW2x.WC3Lucerne\(0525\).pdf](https://www.jara.or.jp/kyoka/current/(2026-061)Sr.M2x.M4-.W4-.LW2x.WC3Lucerne(0525).pdf)

上記【ワールドカップ 3（スイス・ルツェルン）】を経て、下記 1. 「2026 年シニア世界ローイング選手権日本代表選手（2 クルー）」を決定（内定）いたしました。

本決定は選考委員会による選手選考の合理性について、検証・審査を経たものです。

今後理事会の承認をもって正式決定となります。

なお、今後大会組織委員会、WR 等から発表される新たな方針等の事情に変更があった場合には、必要かつ合理的な範囲で変更することがあります。

記

1. 2026 年シニア世界ローイング選手権日本代表クルーについて（2 クルー）

M1x 櫻間 達也（NTT 東日本）

W2- 米川 志保（トヨタ自動車） / 高野 晃帆（関西電力）

(1) 選考観点

→ 「(2025-239)2026 年シニア世界ローイングシニア世界選手権日本代表選手選考方針」（抜粋）

[https://www.jara.or.jp/kyoka/current/1.\(2025-239\)2026SeniorSelectionPolicy\(1126\)-4\(0225\).pdf](https://www.jara.or.jp/kyoka/current/1.(2025-239)2026SeniorSelectionPolicy(1126)-4(0225).pdf)

-1) 評価レース %IDT 94%（2024 年・2025 年のオリンピッククオリファイレベル▲1-1.5%）

-2) 世界ローイング選手権・派遣クルーは、SBS の順位、合宿及びワールドカップにおける評価レースの結果等により世界ローイング選手権への派遣の可否を決定します。なお、世界ローイング選手権の派遣対象となる評価に達するクルーがない場合、その種目の世界ローイング選手権への派遣を見送る場合があります。

ただし、M1x ならびに W1x クルーが世界ローイング選手権の派遣対象となる評価に達していない場合であっても、M1x ならびに W1x が重点強化種目であることから、それまでの評価で最も高いクルーを、それぞれ世界ローイング選手権の派遣対象として考慮・検討します。

- 3) 2026年シニア世界ローイング選手権等への派遣クルーは、シニアナショナルチーム選考レース（SBS）の結果、及びワールドカップ3（スイス・ルツェルン：2026年6月26日（金）～28日（日））の結果により決定いたします。
- 4) 目標 世界ローイング選手権：（重点強化種目以外）1種目以上の派遣に加え、Final B以上進出

(2) ワールドカップ3の評価と選考

- 1) 重点強化種目であるM1xは、Finalレースでの%IDTは上記「選考方針（抜粋）」の-1)に示した94%に達してはませんが、ファイナルレース当日（6月27日（土））のコンディションも考慮し、SBSならびにWC3において最も高い評価であることから、重点強化種目M1x 櫻間達也選手を「2026年シニア世界ローイング選手権日本代表」としました。
- 2) 派遣種目であるW2-は、SBSの評価から、これまで重点強化種目と同じ強化活動を行い、WC3のファイナルレースにおいてもM1xとの%IDTの差が1%以内でのパフォーマンスを示しています。

したがって、上記「選考方針（抜粋）」の-4)に示されている「目標 世界ローイング選手権：（重点強化種目以外）1種目以上の派遣に加え、Final B以上進出」を見据え、W2- 米川志保選手/ 高野晃帆選手を「2026年シニア世界ローイング選手権日本代表」としました。

※参照 ワールドカップ3（スイス・ルツェルン）JPN結果(%IDT)

→ [https://www.jara.or.jp/kyoka/current/2026WorldRowingCup3JPNcrew_IDT\(0702\).pdf](https://www.jara.or.jp/kyoka/current/2026WorldRowingCup3JPNcrew_IDT(0702).pdf)

2. 派遣種目 M2x・M4-・W4- ならびにアジア競技大会派遣種目 LW2x について

(1) 派遣種目

- M2x 宮口 大誠（NTT 東日本）/ 武田 匡弘（関西電力）
- M4- 岸本 健吾（NTT 東日本）/ 津志田 匠太郎（NTT 東日本）
石政 雄也（明治安田）/ 蛭川 暢之（明治安田）
- W4- 飯島 佐和子（明治安田）/ 松田 京子（明治安田）
岸本 唯佳（NTT 東日本）/ 鈴木 伶奈（NTT 東日本）

WC3に出場した、派遣種目の上記3クルーについては、WC3の結果から、「2026年シニア世界選手権」へは派遣せず、アジア競技大会に向けて継続強化してまいります。

(2) アジア競技大会派遣種目

- LW2x 米澤 知華（明治安田）/ 富田 千愛（戸田中央総合病院 RC）

LW2xは、WC3で優勝という成績を残していますが、

→（資料4）(2025-357)「2026年3月第2次シニア強化合宿参加選手について」

[https://www.jara.or.jp/kyoka/current/1.\(2025-357\)2026.03.2nd.Sr.TrainingCampAthletes\(0316\).pdf](https://www.jara.or.jp/kyoka/current/1.(2025-357)2026.03.2nd.Sr.TrainingCampAthletes(0316).pdf)

→（前述資料1に同じ）(2025-365)「2026年シニアナショナルチームについて」

[https://www.jara.or.jp/kyoka/current/1.\(2025-365\)2026.Sr.NationalTeam\(0319\).pdf](https://www.jara.or.jp/kyoka/current/1.(2025-365)2026.Sr.NationalTeam(0319).pdf)

上記2文書に記載の通り、アジア競技大会に向けて継続強化してまいります。

以上